

日曹ニュース



新規殺虫剤 アベイル粒剤発売

弊社が開発したカメムシ目害虫（特にアブラムシ類、カイガラムシ類）に効果が高いアセタミプリドと米国デュボン社で開発されたチョウ目害虫に効果が高いシアントラニプロロールをバランス良く配合した混合粒剤です。2013年よりNI-36粒剤の試験番号で委託試験を実施し、2015年2月に登録を取得し、2016年1月12日より販売を開始しました。

更別試験地開設

2015年5月22日に北海道に更別試験地を開設しました（敷地7,000m²）。静岡県の大原 FRC、福島県の磐梯 FRSに続く弊社3番目の試験研究圃場となります。北海道の環境下での新農薬創製、実用化試験を実施していく予定です。



〈表紙〉 並河 治

ミツマタ *Edgeworthia chrysantha* ジンチョウゲ科
中国南西部原産。中国名は黄瑞香、結香。日本には何時入ったか？万葉集には柿本人麻呂が三枝（さきくさ）としている植物がある。三枝はササユリ。和紙の材料としての記録は1500年以降。渡来は室町時代とするのが妥当だろう。

目次

かんきつ果実腐敗に対する防除対策について 1
愛媛県農林水産研究所果樹研究センター
篠崎 毅 (Tsuyoshi Shinozaki)

冬期マシン油乳剤散布によるチャ赤焼病発病助長の抑制技術 4
ー日曹ムッシュボルドー® DFとラビサンスプレー®の活用法ー
国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
野菜茶業研究所
吉田 克志 (Katsuyuki Yoshida)

土壌消毒剤の世界動向について 10
国立大学法人 東京農工大学大学院 農学研究院
豊田 剛己 (Koki Toyota)

バスアミド微粒剤（ダゾメット粉粒剤）を用いた 16
ホウレンソウケナガコナダニ防除法の開発

旧所属 岐阜県中山間農業研究所
（現所属 岐阜県飛騨農林事務所農業普及課）
浅野 雄二 (Yuji Asano)

モスピラン開発の経緯を振り返って 23
日本曹達株式会社農業化学品事業部海外営業一部
満井 順 (Jun Mitsui)

フェニックス®フロアブルによる枝幹害虫防除 26
日本農業株式会社研究開発本部開発部製品開発ユニット
藤岡 伸祐 (Shinsuke Fujioka)

土壌くん蒸剤による難防除雑草 31
ゴウシュウアリタソウの防除対策
岩手県農業研究センター県北農業研究所
鈴木 良則 (Yoshinori Suzuki)
岩手県二戸農業改良普及センター
藤沢 巧 (Takumi Fujisawa)

〔新製品紹介〕 35
●アベイル粒剤
日本曹達株式会社農業化学品事業部開発部

「途中下車」 43
ホームページ (HP)「埼玉の農作物病害虫写真集」の紹介
女子栄養大学 大学農園管理責任者
新井 眞一 (Shinichi Arai)

表紙写真 古口 正巳

表紙解説 並河 治

表紙構成 杉浦 隆